

文書質問

要緊急安全確認大規模建築物の耐震改修補助について

問

本年8月に示された「耐震改修補助制度（新制度）の創設及び予算措置」への検討に関しては、旅館・ホテルの所有者にとって「自己負担の軽減」が図られ、耐震化が順調に進められることが予想されます。一方、本年4月に「新制度活用の見送り」を決めた理由の一つが「市は財政難の状況下であり、負担が約3倍と大きく、予算措置が許される状況にない」とありました。

一度見送った制度が再検討に至った理由を論点として①政策の提案に至るまでの経緯②他の自治体の類似する政策との比較検討③市民参画の実施の有無とその内容④総合計画との整合性⑤政策などの実施にかかる財源措置⑥将来にわたるコスト計算、以上6項目の政策形成情報の明示を市長に求めます。

答

新たに創設された補助制度の活用については、市全体の利益につながる未来への投資であり、本市の基幹産業である観光を支援することで、多くの観光客を呼び込み、全市観光の推進、市内経済の活性化に結び付きます。

また、大規模災害発生時に市民を受け入れることができる大型避難所を確保することができ、災害発生時に多くの市民を守ることにもつながることから、公平・公正・平等を原則に新補助制度の活用について方針を決定したものです。

財政措置については、不断の見直しと大胆な財政出動が見込まれ相当困難が予想されますが、今後、国や北海道に対し、さらなる支援を強く要望してまいります。

文書質問とは？

議員は、登別市議会基本条例の規定に基づき、市長などに対して文書により質問することができ、市長などは質問を受けたときには、速やかに回答しなければなりません。

第10回議会フォーラムを開催しました



10月1日（土）に婦人センター、鉄南ふれあいセンター、富岸小学校、鷺別公民館で議会フォーラムを開催しました。10回目となる今回の議会フォーラムは、市民との協働による議会活動を目指し、委員会ごとのグループワーク形式で意見交換を行いました。

議会の取り組みや地域課題など活発な意見交換ができ、有意義な議会フォーラムとなりました。

総務・教育委員会

小中一貫教育への取り組みについて

本委員会では、学校の統合が中一ギャップ解決につながるのではとの意見や、少人数だと切磋琢磨できないため小中一体型を導入してはどうかとの意見がありました。

また、「コミュニケーションの活動には、避難訓練や子ども会、お祭りなど地域住民との活動が必要との意見がありました。

生活・福祉委員会

生活困窮者自立支援法に係る施策について

参加者の多くは、町内会役員として日ごろから市民生活に密接にかかわっている方で、町内会役員と民生委員の役割を周知してほしいとの意見がありました。

また、「多様な支援よりも、支援を必要とする人が少ないまちづくりを」との提言がありました。

観光・経済委員会

北海道新幹線延伸による観光産業の発展や経済の活性化への取り組みについて

全市観光に向け、温泉街と市街地の交流を増やし、積極的に取り組むべきとの意見や、観光客が市内を回遊できるようバス停の増設について提案がありました。また、ご当地グルメなどの特徴ある製品の開発、道の駅建設も目指すべきとの意見がありました。

議会だより編集委員会

・議会だより「でいすかす」の見やすさについて
・市議会ホームページの改善について

意見交換では、議会だよりが広報のどこにあるかわかりにくい、文字が小さいとの意見がありました。また、議会でフェイスブックやYouTubeなどの導入を検討してはどうかとの提案がありました。